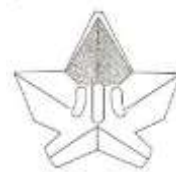


宝達山

宝達志水町立宝達小学校

目指す児童像

- ☆よく考える子
- ☆思いやりのある子
- ☆たくましくやりぬく子



令和4年9月5日(月)

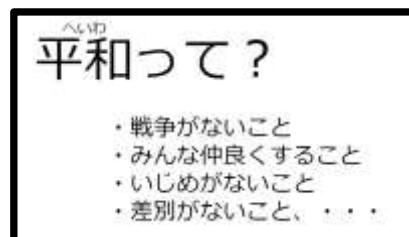
文責 校長 村田 浩彦

☆☆☆平和について考えました☆☆☆☆☆☆☆☆

夏季休業期間中の8月5日(金)は、全校登校日で平和集会がありました。新型コロナウイルス感染症予防・熱中症予防のため、校長室と各教室をChromebookで繋ぐ「リモート形態」で行いました。

今回の集会は「平和」をテーマに、大型モニターで「校長のお話」「池島先生のお話」を聞き、その後各教室で担任の先生の「平和に関する本の読み聞かせ」を聞きました。

校長のお話では、6月23日に開催された「沖縄全戦没者追悼式」で、自作の平和の詩「こわいをして、へいわがわかった」を朗読した、沖縄市の小学校2年の徳元穂菜さんを紹介しました。徳元さんが宜野湾市佐喜真美術館を家族と訪れ、「沖縄戦の図」を見たときの思いを詩にしたものです。子どもたちには、徳元さんが式典で自ら詩を朗読している動画を見てもらいました。同じ小学生の言葉に何か感じるものがあるのではないかと思います。取り上げました。現在も視聴可能ですので、ご家族の方もご覧になり、お子様と感想を交流するのもよいと思います。リンクは以下のとおりです。



<https://www.asahi.com/articles/ASQ6R3FKLQ6PTIPE01Y.html>



↑ 1年生



↑ 2・3年生・ひだまり



↑ 4年生



↑ 5年生



↑ 6年生



Q「平和」ってどんなこと？
1年生が自分の言葉で表現しています。

1 学期学校評価（児童・保護者・教職員アンケート）

1 学期児童学習アンケート結果をお知らせします。

<令和4年度1学期 児童学習アンケート結果と今後に向けて>

A あてはまる B どちらかといえばあてはまる C どちらかといえばあてはまらない D あてはまらない

項目	A	B	C	D
1 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う。	27人 (50%)	18人 (33%)	6人 (11%)	3人 (6%)
2 分からなかったことを、もう一度勉強し直している。	29人 (54%)	16人 (29%)	6人 (11%)	3人 (6%)
3 話し合う活動をして、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う。	32人 (59%)	15人 (28%)	5人 (9%)	2人 (4%)
4 問題の解き方が分からない時は、あきらめずにいろいろな方法で考えている。	31人 (59%)	16人 (30%)	5人 (9%)	1人 (2%)
5 家では、自分で計画を立てて勉強している。 (予習・復習を含む)	40人 (74%)	9人 (17%)	4人 (7%)	1人 (2%)
6 授業の最後に学習内容をふり返る活動をよく行っていたと思う。	24人 (44%)	20人 (37%)	7人 (13%)	3人 (6%)
7 学習のまとめを教科の言葉やキーワードを使って自分で書くことができた。	32人 (61%)	14人 (26%)	6人 (11%)	1人 (2%)

○結果より

- ・どの項目も80%以上の児童がAまたはBを選び、学習に対する前向きな取組が伺えます。CまたはDを選んだ児童に対しては、実態や思いを再確認し、さらに授業中の声かけや個別指導に努めていきます。
- ・6のふり返る活動においては、ふり返りの時間が足りなかったとならないよう、授業の流れや時間配分を意識した授業展開を意識していきます。

1 学期保護者アンケートのご協力ありがとうございました。結果をお知らせします。

<令和4年度1学期 保護者アンケート結果と今後に向けて>

() は昨年度3学期との比較です。

項目	A	B	C
1 子どもは、学校が楽しいと言っていますか (A楽しい Bどちらかといえば楽しい C楽しくない)	69% (-14.1)	27.6% (+12.3)	3.4% (+1.5)
2 子どもは、毎日朝ご飯を食べていますか (A食べている B時々食べる C食べない)	100% (0)	0% (0)	0% (0)
3 子どもは、学校の準備が片付いているようですか (A準備が片付いている B片付いていない C片付いていない)	70.7% (-3.9)	22.4% (+2.1)	6.9% (+1.8)
4 子どもは、仲良しの友達がいるようですか (Aいる Bどちらかといえばいる Cいない)	86.2% (-6.9)	13.8% (+6.9)	0% (0)
5 子どもは、テレビを毎日どれくらい見えていますか (Aあまり見ない B1時間ほど見る C2時間以上見る)	15.5% (-8.2)	48.3% (+0.8)	36.2% (+7.4)
6 子どもは、ゲームを毎日どれくらいしていますか (オンラインゲーム含む) (Aあまりしない B1時間ほどする C2時間以上する)	41.4% (+9.2)	44.8% (-11.1)	13.8% (+1.9)
7 子どもは、毎日何時ごろ寝ますか (A9時前 B9時～10時 C10時以降)	13.8% (-1.7)	67.2% (+1.7)	18.3% (-0.7)
8 子どもは、SNSや動画配信サービスなどのインターネットを毎日どれくらい使っていますか (Aあまりしない B1時間ほどする C2時間以上する)	43.1% (+1.7)	46.6% (-3.4)	10.3% (+1.7)
9 子どもは、「授業はわかりやすい」と言っていますか (Aわかりやすい Bわからない Cわからない)	50.9% (-11.8)	45.6% (+10)	3.5% (+1.8)
10 子どもは、読書をしていますか (Aしている B時々している Cしていない)	20.7% (-6.9)	44.8% (+3.4)	34.5% (+3.5)
11 子どもは、学習塾、習い事、クラブなどに通っていますか (A通っている B通っていない)	72.4%	27.6%	

○今後に向けて

- △1「学校が楽しい」と回答した子の割合が1.4%下がりました。また、4「仲良しの友達がいる」と回答した割合、9「授業はわかりやすい」と回答した子の割合も下がりました。友達とのトラブル等で楽しくないと感じている子、授業がわからないから楽しくないと感じている子、多様な可能性が考えられます。学校では、引き続き子ども達の様子に目を配っていきます。友達関係の悩みや、学習の悩みなどありましたら、学校にお知らせ下さい。保護者の皆様と連携を取りながら、迅速に対応していきます。
- 6「ゲームを毎日どれくらいしていますか（オンラインゲーム含む）」の設問で、「1時間ほど」と回答した割合が下がり、「あまりしない」と回答した割合が上がりまし。一方で、「2時間以上する」と回答した割合や、5「テレビを2時間以上見る」と回答した割合は増えました。ゲームやテレビの時間について、今後も考えていきたいと思います。ご家庭でもお話をお願いします。
- △9「授業はわかりやすい」と回答した子の割合が1.1%下がりました。全職員で原因を探って対策を考えます。2学期は全職員で「楽しい、わかる授業」を目指していきます。
- △10「読書をしている」と回答した子の割合が約7%下がりました。学校でも、授業での並行読書や委員会等の取組で、読書の楽しさを伝えていきます。

内部評価項目（令和4年度1学期）

【評価基準】 A:十分なされている B:概ねなされている C:あまりなされていない D:なされていない（単位：%）

項目	評価内容	A	B	C	D
(1)組織的な学校運営	1 校内研修会やOJTが計画的に実施されているか。	100	0	0	0
	2 自分の職務分掌について、計画・実施・反省を行い次回につなげたか。	71.4	14.3	14.3	0
	3 校務の効率化が図られているか。	75	12.5	12.5	0
	4 保育所・小学校・中学校・高校等の連携がうまく図られているか。	0	87.5	12.5	0
	5 ロードマップに沿った学力向上対策が実施できたか。	71.4	28.6	0	0
	6 ゴールの姿をイメージして、授業でできたか。	85.7	14.3	0	0
(2)学習指導の充実	7 朝自習や朝読書の充実が図られたか。	71.4	14.3	14.3	0
	8 学習規律や学習習慣についての指導ができたか。	85.7	14.3	0	0
	9 家庭学習・家庭読書についての指導ができたか。	57.1	42.9	0	0
	10 外国語活動の充実が図られたか。	66.7	33.3	0	0
	11 道徳の授業の充実が図られたか。	83.3	16.7	0	0
	12 体力向上に向けた取組（スポチャレや集団の取組を含む）ができたか。	16.7	83.3	0	0
	13 読書活動を推進し、読書量増加につなげることができたか。	50	33.3	16.7	0
	14 一人一台タブレット端末を活用した授業（指導）ができたか。	42.9	42.9	14.2	0
	15 生活目標に対して、具体的取組ができたか。	50	50	0	0
	16 特別支援教育で、児童生徒のニーズに応じた支援が図られたか。	66.7	33.3	0	0
(3)生徒指導の充実	17 挨拶、ことば遣いについての指導ができたか。	71.4	28.6	0	0
	18 清掃指導ができたか。	66.7	33.3	0	0
	19 食育を行い給食指導ができたか。	50	50	0	0
	20 「いじめ」について、予防・把握・指導ができたか。	100	0	0	0
	21 「不登校」について、予防・把握・指導ができたか。	100	0	0	0
	22 児童理解について、共通理解が図られているか。	75	25	0	0
(4)家庭地域との協働	23 家庭・地域への情報発信（新聞、学級だより、保護・給食だより、ホームページの更新）が行われているか。	100	0	0	0
	24 教職員は、地域の行事等に積極的に参加し、地域からの意見を取り入れようとして（促進）しているか。	57.1	28.6	14.3	0
	25 児童・生徒の学校行事、地域等への参加を家庭・地域に呼びかけているか。また、児童生徒は参加しているか。	57.1	28.6	14.3	0
	26 教職員は、互いに協力しながら児童の指導をしているか。	75	12.5	12.5	0
	27 教職員は、服装、髪型児童生徒の模範となっているか。	75	25	0	0
(5)その他（職員の服務態度）	28 教職員は、危機管理に対する意識を持ち、有事に速に対応しているか。	50	50	0	0
	29 教職員は、働き方を整理し、業務の効率化に取り組んでいる。	37.5	50	12.5	0

- ・4では、統合に向けて準備委員会を設けたり、授業力向上のための教師の授業交流を行ったりしている。しかし、コロナ禍で、校種を超えての連携までには至っていない。2学期は他校の3年生とアサギマダラのマーキング活動で交流するなど、できる活動から計画・実施し、連携を図っていく。
- ・12では、体力テストで投げる力や握力の弱さが明らかとなり、校庭に投げる場所を設置したりハンドグリップを利用したりして体力向上に役立ててきた。2学期以降は、マラソン校内やなわとび大会に向けて、目標をもち、毎日のマラソン練習やなわとび練習で体力向上を図っていく。
- ・29では、月1回を目標に業務改善に関する会を開き、全職員が働き方を整理してアイデアを出し合っていく。

これらのアンケートの結果を基に、2学期の取組を進めていきます。ご理解ご協力を宜しくお願いいたします。